

Threespine stickleback
(*Gasterosteus aculeatus*)



アドバンス生命理学特論

IGER SEMINAR

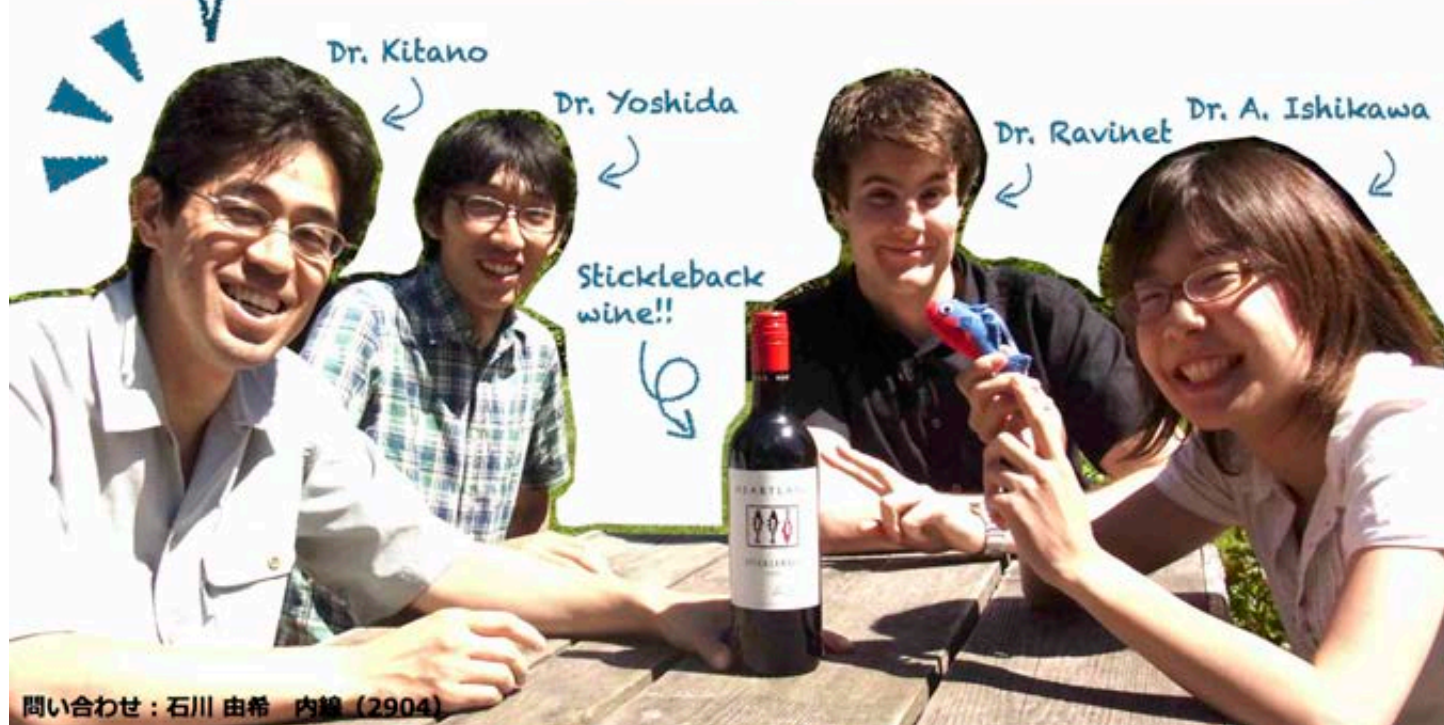
Integrative Graduate Education and Research Program in Green Natural Sciences

トゲウオにおける適応進化の遺伝機構

北野 潤教授 (国立遺伝学研究所・生態遺伝学研究室)

どのようにして新たな種が生まれるのか。生き物がどのようにして多様な環境に適応していくのか。私の研究室では、生物多様性進化を巡るこれらの問いに対して、おもにトゲウオ科魚類を用いながら迫ります。表現型に関わる遺伝子は、実験モデル生物において多く同定されてきましたが、野外生物における種分化や適応進化の分子機構の多くは未解明です。また、原因対立遺伝子が野外集団内でどのように広まっていくのかについても多くが未解明です。これらを解明するために、フィールド調査から始まり、ゲノミックスや遺伝子工学、生態実験などを統合的に用います。現在、最も重点を置いているテーマは、単純な自然選択による適応進化のモデルでは説明できないような性的二型の進化、染色体構造の変化、適応能力の限界、雑種不妊などの原因となる遺伝子及び変異の特定などです。本講演では、これらの中からいくつか最新の知見を紹介します。

2016.4.28(木)16:00-17:30 理学部 E131



問い合わせ：石川 由希 内線 (2904)